

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年3月31日 (1回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	最上町 (063622)
地域名 (地域内農業集落名)	東法田地区 (東法田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	151 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	139 ha
② 田の面積	137.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	18.1 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	12.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	12.9 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・現状では認定農業者等への集約が進んでいるものの、今後、年齢等により離農が増加した際に、引き受け手の効率向上のための農地集積が課題となっている。また、離農者が増加すれば、水路や雑草の管理が困難となってくる。
・圃場条件が悪い北側の窓塞地区では離農意向の農業者が多く、受け手が確保できない場合も想定し、水稻以外の新たな作物の導入を含めた対応の検討が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

○水稻を主要作物とし、担い手への集積と合わせて集約化により利便性の向上による経営面積の拡大を促していく。
○畜産を営んでいる中心経営体が多く、耕畜連携を踏まえた牧草の作付けを行い、連携を図っていく。
○中山間組織や多面的組織で連携し、担い手への農地の集約化を検討しつつ、農業を担う者への必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	44	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地数の減少及び団地面積の拡大を進める。(令和16年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業をリタイア・経営転換する人は、農地中間管理機構への貸し付けを前提とし集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
将来に向けた耕作条件の改善のために取組を検討している。現状、多面的組織等と連携しながら水路等の基盤を改善している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市町村やJAと連携し、既存の経営体への支援、新たに就農を希望する経営体に対し、相談から定着まで継続した支援を実施していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
水稻の刈取・乾燥調整作業は必要に応じ、担い手を中心に作業の引受先の確保に努めるほか、1組合を活用していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化、輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシ等の鳥獣害被害が拡大しないよう対応策を講じるとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに役場との連携ができるようにする。
③水稻作付を中心として、ドローン防除や水管理、肥料散布の最適化等スマート化を進めていく。
④地区の合意形成の下、畑地化にかかる事業を検討していく。
⑦保全等を進める区域については、地区内の合意形成を図り、遊休農地化しない対応を検討していく。
⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮し、出荷・調製施設など農業用施設の支援をしていく。
②、⑨畜産農家と連携し、飼料作物の供給からの家畜排せつ由来堆肥を散布して化学肥料の減肥につなげる資源循環の取組を実施していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙のとおり					ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
計	0経営体		0.0 ha	0 ha		0.0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	農業生産法人もがみグリーンファーム(株)	播種・刈取	そば・大豆
2	(株)石山機工	農薬散布	水稻
3	小国商事(株)	農薬散布	水稻
4	農事組合法人アグリファームれいめい	刈取・乾燥調整	水稻
5	東法田ライスセンター利用組合	刈取・乾燥調整	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
認農		水稲、山菜、そば、蕎麦しいたけ	3.7 ha	ha	水稲、山菜、そば、蕎麦しいたけ	3.7 ha	ha	8	
到達		水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	22	
到達		水稲	2.0 ha	ha	水稲	5.0 ha	ha	7	
到達		水稲、畜産(肥育牛)	7.1 ha	ha	水稲、畜産(肥育牛)	7.1 ha	ha	1	
認農		水稲、菌床しいたけ	5.7 ha	ha	水稲、菌床しいたけ	10.0 ha	ha	20	
認農		水稲	2.9 ha	ha	水稲	2.9 ha	ha	10	
到達		水稲	4.2 ha	ha	水稲	4.2 ha	ha	3	
到達		水稲	2.1 ha	ha	水稲	2.1 ha	ha	6	
到達		水稲、飼料用米、ソバ	2.9 ha	ha	水稲、飼料用米、ソバ	5.0 ha	ha	2	
認就		ネギ、そば	1.2 ha	ha	ネギ、そば	1.2 ha	ha	21	
認農		水稲、畜産(肥育牛)	3.6 ha	ha	水稲、畜産(肥育牛)	3.6 ha	ha	14	
認農		水稲、アスパラガス、そば	1.4 ha	ha	水稲、アスパラガス、そば	1.4 ha	ha	5	
認農		水稲、牧草、畜産(繁殖、肥育牛)	1.9 ha	ha	水稲、牧草、畜産(繁殖、肥育牛)	5.0 ha	ha	12	
認農		水稲、菌床しいたけ	5.3 ha	ha	水稲、菌床しいたけ	5.3 ha	ha	4	
認農		水稲、アスパラガス、畜産(肥育牛)	1.0 ha	ha	水稲、アスパラガス、畜産(肥育牛)	1.0 ha	ha	9	
認農		水稲、そば、山菜	6.3 ha	ha	水稲、そば、山菜	6.3 ha	ha	11	
認農		畜産(肥育牛)、アスパラガス	0.2 ha	ha	畜産(肥育牛)、アスパラガス	0.2 ha	ha	15	
到達		牧草	2.3 ha	ha	牧草	2.3 ha	ha	19	
認農		畜産(肥育牛)	— ha	ha	畜産(肥育牛)	— ha	ha	16	
認就		水稲、牧草、トマト	4.7 ha	ha	水稲、牧草、トマト	4.7 ha	ha	17	
到達		水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	13	
認農		水稲、そば	1.8 ha	ha	水稲、そば	1.8 ha	ha	18	
認農法		畜産(肥育牛)	— ha	ha	畜産(肥育牛)	— ha	ha		
認農法		水稲、そば	3.4 ha	ha	水稲	9.0 ha	ha	24	
認農法		水稲、そば	1.0 ha	ha	水稲、そば	1.0 ha	ha	23	
計	25経営体		66.7 ha	0 ha		84.8 ha	0 ha		

東法田地区 地域計画 目標地図

